



# 八天堂便り 2021 8月号

Vol.137

八天堂便り制作実行委員会  
石井・金岡・沖村・辻村・  
井場・今井・浦島  
編集長:宮川(沙)  
2021年8月1日発行



## 皆さんへ



● 何時もお疲れ様です。

少しずつワクチン接種も広がりを見せる中、このまま収束の方向へ向いてくれればいとただただ願うばかりだ。いざさか楽観的な見方だとは思うが、コロナの反動は必ずくると見通す。この一年我慢していた分の反動だ。そこに備えて今できることを確実に一つ一つ進めていこう。食品メーカーである我が社においては『品質第一』を心がけて『お品はお客様のために』とある様に、徹底した品質管理の下お客様第一を心がけてもらいたい。

● 『考え方が変われば行動が変わり、行動が変われば習慣が変わり、習慣が変われば人格が変わり、人格が変われば運命が変わる』つまり人生が変わる有名な格言がある。その出だしの『考え方』について面白い寓話がある。旅人の話だ…。

● 一人の旅人がある街を訪れ、そこに居たお爺さんに「この街はいい街ですか!？」と尋ねてみた。お爺さんは答えた「あなたが前に住んでいた街はいい街でしたか!？」と。旅人「いやーひどい町でした。人も冷たく…」お爺さん「この街もあなたが前に住んでいた街と同じですよ」と答えた。二人目の旅人がその街を訪れ、そこに居たお爺さんに「この街はいい街ですか!？」と同じことを尋ねる。お爺さんは答えた「あなたが前に住んでいた街はいい街でしたか!？」と。旅人「良い街でした。人もみんな優しくして…」お爺さん「そうですか、この街もあなたが前に住んでいた街と同じですよ」と答えた。

● 皆さん解りますか!?!つまり自分の考え方・受け止め方次第で心はカタチ造られていくのだと。

**【本業を離れるな 本業を続けるな パート2】**……………

● 前回は創業者の一面を語ってみたが、パート2では会長である父親のエピソードに触れてみる。創業店である和菓子店の売上げが伸び悩み中、2代目の父が洋菓子を取り入れて業態転換を図っていく。昭和30年代まで遡る。映画三丁目の夕日(昭和33年前後)の一場面にシュークリームが登場するが、まさに少し遅れた昭和30年後半にシュークリーム、長崎カステラ、オムレットなど洋菓子の新商品開発に乗り出した。小学校中学年まで三原駅前工場の2階に住んでいたこともあり、いつも甘い香りが漂っていた思い出がある。小腹が空けば下に降りてカステラの切れ端を頬張っていた。私が生まれて間もない昭和40年、当時は職人さん達が数名居たことをおぼろげながら記憶している。聞けば10人ほど働いていたらしい。また、正参与が目にも止まらぬ速さで卵を割っていたことが脳裏に焼き付いている。思えば卵を沢山使う長崎カステラの仕込みだった。何度も窯から出しては生地を空気を切り、また入れては出しの繰り返しをやらなければ目が細かなカステラはできないのだ。(※「長崎カステラ」と「お茶の味」は菓子博で大賞をもらったお品である。)人気の商品としてはシュークリームだ。友達からもよく、「八天堂のシュークリーム美味しいね!」と言われたこと

を思い出す。あまり褒められたことが無かったので本当に嬉しかったね。どこにも無い程のふかふか柔らかなシュークリームだ。復刻版をシュークリームクラシックとして近々販売予定である。

● ところで、父である会長は私とタイプは真反対の職人肌である。(※ちなみに私は二人兄弟で一人弟が居る。栃木の宇都宮でパン屋を1店舗営業している。)お陰様で地域に愛されたパン屋として売り上げを全く落とすことなく、繁盛店として活躍してくれている。弟夫婦は私の誇りであるし尊敬している。何より弟は私と違い親にあまり心配もかけることもなく、最高に親孝行してくれていると思う。まさに感謝である。

● 話を戻す。職人肌の会長の思い出として、一つ一つ丁寧に作っていた。ひたすらコツコツといった感じだ。売ることも作ることに全力を注いでいた。柏餅、桜餅、栗饅頭、牛皮饅頭など様々な饅頭を包籠している光景が脳裏に浮かんでくる。饅頭を包籠する手つきはかっこよかった。(柏餅の葉っぱを三原の山中と一緒に取りにっていたことも懐かしい)作ることはかっこいいが、やはり商売であり売れなければ自己満足で終わってしまう。お客様に支持して頂かなければ、たちまち経営は立ちいかなくなる。私が三原に戻ってくる頃はまさに経営状況は思わしくなく、若干ではあるが赤字に落ち込み立ちいかなくなる寸前であった。振り返ると50年ほど前、和菓子店が飽和状態となり、差別化を上手く図れなく洋菓子を取り入れ、和洋菓子屋として業態転換を図り危機を脱した。しかし年月が経ち、和洋菓子店が飽和状態となり差別化を図れず、またしても危機が生じる訳だが…

● そんな中、私がパン業態として和洋菓子店から3キロほど離れた場所(宮浦町眼鏡市場さん前)に焼き立てのパン屋を開業する。平成3年1月10日である。社員は道子おばさん一人とパートさん、短期アルバイトさん数名で開業する。ちなみにこの年の3月に眞殿顧問がパートとして入ってくる。時代背景もあり開業するや否や大いに賑わうことになる。次回、パート3(焼き立てのパン屋時代に続く)。



株式会社八天堂  
代表取締役社長 森光孝雅





## 今月の格言

### 「原因を追わず善後を図る」

いたずらな後悔、悲観、憤りは悪循環のもと。  
生じてしまった事態は反省の好機として主体的に受け止めよう。  
『後を善くする心あってこそ』飛躍への踏み台が現れる。

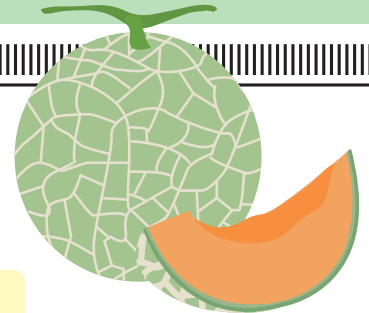


## 八天堂ビレッジ 「北海道 旬のうまいもん&メロンスイーツフェア」開催！

期間 8月5日(木)～8月31日(火)

店舗 空の駅オーチャード、八天堂カフェリエ、天空カフェ&ファクトリー

8月の八天堂ビレッジでは「北海道 旬のうまいもん&メロンスイーツフェア」を行います。各店舗みずみずしいメロンやミルクをメインとしたスイーツやドリンクをご用意しております！空の駅オーチャードはメロンを使った期間限定のパフェやシェイクにかき氷、北海道のご当地商品もお買い求めいただけます。天空カフェやカフェリエではメロンやミルクを使用したスイーツ、パン、ドリンクなど、北海道をたっぷり堪能できる期間限定のお品をご用意しております。暑い夏に避暑気分北海道フェアを楽しみませんか？皆様のご来場をお待ちしております！



▼詳しい情報はコチラ！



## オンラインショップのサービスを使って、大切な人に贈り物を。

八天堂オンラインショッピングでは、『Thank youカード』や『Happy Birthdayカード』といったメッセージカードを無料でお付け出来ます！遠く離れた大切なあの人や、近くにいる日頃想いを伝えられていないあの人に、メッセージカードをつけて、くりむパンを贈りませんか？蒸し暑い夏にピッタリな、冷たいくりむパン。メッセージカードをそえて、あなただけのやさしい贈り物をお届け致します！



## 新商品のご案内



### どら焼き

期間 2021年9/1(水)～

展開 全国の小売店

昭和8年に和菓子屋として創業した八天堂。当時から製造・販売していたどら焼きに今の八天堂の思いを最大限込めて開発した逸品。ふわっとしっとりした生地が特徴で、つぶあんも甘さを控えめに食べやすいあんこに仕上げました。昔懐かしくも新しいどら焼きをぜひお楽しみくださいませ。

Hattendo Information

八天堂アプリ



Instagram



Twitter

